

ストリップス債の証券コードについて

平成 14 年 7 月 19 日

証券コード協議会

ストリップス債の公社債銘柄コード（現行コード）及び新証券コード（I S I Nコード）の構成について、次のとおりと致します。なお、ストリップス債の法律については、金融庁のHP <http://www.fsa.go.jp/houan/houan.html> をご覧ください。

（付番対象）

- ・ 当初発行の利付国債（現行と同じ）
- ・ 分離元本国債 利付国債の償還日を満期とする割引国債
- ・ 分離利息国債 クーポンの支払期日を満期とする割引国債

（注）再結合（分離元本国債と分離利息国債が結合して利付国債に復帰）の場合、再結合後は事実上、分離前と同じ国債となるため、元の利付国債のコードとし、新たなコードは設定しない。

1 公社債銘柄コード

当初発行の利付国債

通常の利付国債のコードを使用する。再結合の利付国債も、このコードとなる。

分離元本国債

固有名コードは利付国債と同じコードとし、回記号コードは、4桁のうちの先頭1桁を「9」、残り3桁で回号を表示（回号の下3桁）する。

分離利息国債

分離利息国債につき、固有名コードを新規に設定する。回記号コードは、4桁のうち先頭2桁が利子支払年（西暦の下2桁）、後ろ2桁が支払月をセットする。

2 新証券コード

当初発行の利付国債

通常の利付国債のコードを使用する。再結合の利付国債もこのコードとなる。

分離元本国債

国債名称コード及び回記号コードは、利付国債のものをそのままセットする。通番コードは利付国債と区別するため、「P」から始まる連番を使用することとし、以下、発行年月をセットする。

分離利息国債

国債名称コードを新規に設定する。回記号コード(3桁)は、先頭2桁が償還年(西暦)の下2桁、最後の1桁が償還月(発行月コードと同様にコード化)を設定する。通番コードは国債の「1」を使用する。発行年月の2桁は「00」を割当てる。

(設定例)

	回記号コード	固有名コード	J P 1 属性コード	国債名称	回号	通番	発行年	月	C D
利付国債(10年)237回 再結合銘柄	}	0 2 3 7 0 0 6 7							
				J P 1 1 0 2 3 7 1 2 3 2					
分離元本国債(237回)		9 2 3 7 0 0 6 7							
分離利息国債 (2004年9月償還銘柄)		0 4 0 9 0 0 8 1							

(注) 固有名コード「0081」、国債名称コード「80」

以上